



中之島公会堂ガイドツアーと周辺散策のご案内

大阪市中央公会堂、こども本の森中之島から、難波橋を渡って、道修町（どしょうまち）の少彦名神社（すくなひこなじんじゃ）、くすりのミュージアムストリートを経て、適塾まで、近代、商いで栄え学問の中心地でもあった北浜を歩きます。途中レトロな名建築も左右に見られます。

荒天でない限り雨天決行とします。

- ・日 時 2024年 1月 11日（木）
- ・集 合 9時 30分 地下鉄淀屋橋駅 北改札口から1番出口（大阪市役所方面）を上ったところ
（淀屋橋の南詰め、牡蠣船のあるところ）
この出口は急な階段です。遠回りすればエレベーターで地上に出ることもできるかと思います。
- ・持ち物 弁当、水筒、雨具、帽子、など。その他寒さ対策に必要な物。
- ・行 程 約5～6km

- 9:30 淀屋橋の南詰め集合
三好達治詩碑 「乳母車」
- 9:50 大阪市中央公会堂 10時より館内ガイドツアー（40分前後）
- 11:15 こども本の森中之島 館内見学
- 11:50 公園にて昼食。雨天の場合は、公会堂の地下の椅子のあるところで食べます。 まで。
- 12:30 北浜方面に移動
難波橋から堺筋に入る。大阪取引所・五代友厚像、新井ビル、三井住友銀行ビル、青山ビル、伏見ビル、旧小西家住宅（重文）など、大正から昭和初期のレトロなビルが多い。
- 12:50 少彦名神社・くすりの道修町資料館・春琴抄の碑
- 13:20 武田科学振興財団「杏雨書屋」（きょううしょおく）見学 その後、製薬会社の並ぶミュージアムストリートを歩く。
- 14:20 適塾・緒方洪庵像 見学
愛珠（あいしゅ）幼稚園（重文）・銅座跡、懐徳堂旧跡碑などを経て、地下鉄淀屋橋駅へ
- 15:10 地下鉄淀屋橋駅 10番出口（エレベーター有り）前にて解散

担当 Cグループ 李三・福嶋（明）

大阪市中央公会堂

ネオルネッサンス様式の美しい外観の公会堂。
北浜の株式仲買人であった岩本栄之助氏の寄附をもとに1913年（大正2年）に着工し、1918年（大正7年）に竣工した。

以来1世紀近くにわたって国際的な一流アーティストによるオペラやコンサートの他、各界著名人の講演会も数多く開催されるなど、大阪の文化・芸術の発展に深く関わってきたが、老朽化が進んだことから保存・再生工事が行われ、2002年（平成14年）9月に完成。創建時への復元改修に加え、古い建築物に高い耐震性を与え甦らせる「免震レトロフィット」や、時代のニーズに応じて次世代まで活用できるよう、スロープやエレベーターを新設するなど大掛かりなものであった。国の重要文化財に指定。





こども本の森中之島

「こどもたちに多様な本を手にとってもらい、無限の創造力や好奇心を育てほしい。自発的に本の中の言葉や感情、アイデアに触れ、世界には自分と違う人や暮らしが在ることを知ってほしい。「こども本の森 中之島」は、そんな想いでつくられた文化施設です。」(ホームページから)

設計・寄附／安藤忠雄建築研究所

名誉館長／山中 伸弥（ノーベル生理学・医学賞受賞）

少彦名神社

少彦名神社は、神皇彦靈神（かんむすびのかみ・万物生成の神）の子である日本医薬の祖神・少彦名命（すくなひこなのみこと）と、中国医薬の祖神・神農炎帝（しんのうえんてい）がご祭神として祀られおり、「健康の神様」「薬の神様」として知られている。また、交易の神様として商売繁盛の神徳があるともいわれ、別名で「神農（しんのう）さん」と親しみをこめて呼称されている。

1822年に大阪でコレラがまん延した時、「虎頭殺鬼雄黄圓（ことうさっきうおうえん）」という疫病除薬をつくり、少彦名神社の神前で祈祷をして罹患者に施し、その際に併せて配布された「張子の虎」が現在でも病除けのお守りとして人気がある。

11月22日・11月23日には神農祭が行われ、五葉笹に吊るされた「張子の虎」（神虎）が授与される。

適塾

我が国唯一の蘭学塾の遺構。国史跡・重要文化財。蘭医学研究の第一人者とされる蘭方医緒方洪庵（1810-1863）が1838（天保9）年に開いた塾で、ここでは西洋医学の研究をはじめとして、種痘事業やコレラ治療など、大きな医学史上の業績が生まれた。また、洪庵は当代一流の学者・医師としての業績をあげただけでなく、すぐれた教育者としても福澤諭吉・橋本左内・大村益次郎など多くの英才を育て幕末から明治維新にかけて、近代日本の国家形成に関与する幾多の人物を輩出した。



適塾の環境として、すぐ西側には銅座があり、シーボルトやオランダ商館員も宿泊し、蘭書の取引なども行われたという。銅座は江戸時代の重要な輸出品である銅を管理し、銅山から買い付けた荒銅を大坂で精錬させ、海路、長崎へ回送した。

愛珠幼稚園

1880年（明治13）、船場北部の連合町会により創設。船場商人の教育にかける心意気を感じられる豪華な作りである。現園舎は1901年（明治34）竣工のもの。現存する木造の幼稚園園舎として日本最古。

現在も大阪市立幼稚園として使われている。

懐徳堂

江戸時代中期に大坂の商人たちが設立した学問所。明治初年の閉校、大正時代の再建、太平洋戦争による罹災焼失を経て、現在は大阪大学文学部が継承している。